

熊本地震への都の支援等について

地震の状況

1 地震の概要

- (1) 平成28年4月14日21時26分頃に発生した地震（前震）
平成28年4月14日21時26分頃発生 M6.5 最大震度7
- (2) 平成28年4月16日1時25分頃に発生した地震（本震）
平成28年4月16日1時25分頃発生 M7.3 最大震度7

2 被害の状況

人的被害			住家被害			非住家被害		火災
死者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	公共建物	その他	
	重傷	軽傷						
272名	1,202名	1,606名	8,668棟	34,720棟	162,562棟	439棟	11,160棟	15件

出所：「熊本県熊本地方を震源とする地震（第120報）」平成30年10月15日（月）13時00分 消防庁応急対策

都の支援等

※年については特段の標記がない場合は全て平成28年である

1 庁内の体制

◆ 熊本地震情報連絡会議【終了】

副知事・各局長で構成する「熊本地震情報連絡会議」を開催し、被害状況等の情報共有を図るとともに、要請があれば人的支援や必要な物資を届けられる体制を構築
第1回：4月16日、第2回：4月18日、第3回：4月21日、第4回：4月28日、
第5回：5月16日

2 被災地への派遣 警視庁、東京消防庁、医療関係者をはじめ、これまでにのべ1,476名を派遣

◆ 救出救助等【385名】【終了】

※（ ）は現在活動中
特殊救助隊隊員27名、広域緊急救助隊隊員348名、東京消防庁職員10名

◆ 医療等支援【221名】【終了】

医師・保健師等36名、東京都こころのケアチーム25名、医療救護班32名、
警視庁さずな隊106名、災害拠点病院のDMAT8名、ケースワーカー4名、
児童・生徒の心のケア1名、獣医師9名

◆ 災害応急復旧支援【160名】【終了】

水道施設の復旧支援55名、下水道施設の復旧支援33名、
災害応急支援(南阿蘇村)39名、災害応急支援(益城町)15名、
道路・河川等復旧支援17名、公共施設に係る災害復旧支援1名

◆ 技術等支援【131名】【終了】

応急危険度判定員24名、被災宅地危険度判定士4名、り災証明発行支援等88名、
仮設住宅建設支援8名、災害廃棄物処理支援5名、県有建築物災害復旧2名

◆ 情報収集等【25名】【終了】

情報収集等25名

◆ 復興支援【11(5)名】

グループ補助金制度実施、認定等業務2(2)名、河川災害査定関係業務1(1)名、
災害関連緊急砂防等業務3(1)名 ※平成29年10月より派遣、
区画整備事業技術協力1(1)名 ※平成30年4月より派遣

◆ 都と連携して支援している他機関等【543名】【終了】

3 支援物資の提供【終了】

◆ 被災地の要望を踏まえ、必要な救援物資を搬送

毛布 4,300枚、給水袋 40,000袋、簡易トイレ 2,000個、弾性ストッキング 3,000足

4 その他

◆ 被災者支援

- ・都立学校等において、被災者を受入
- ・都営住宅において、被災者を受入
- ・熊本県、大分県の被災者に対し、都税の納期限を延長【終了】
- ・首都大学東京において、被災した学生等に対して授業料等を減免
- ・都立産業技術高等専門学校において、被災地域の高等専門学校学生を受入

◆ 義援金の募集等【終了】

4月18日から義援金の受付開始、都内公共施設等に募金箱を設置

6月30日 義援金の募集終了

7月22日 義援金（東京都職員義援金を含む）を熊本県と大分県に配分

総額：179,166,118円（うち職員義援金：111,496,424円）

配分額：熊本県 177,571,540円、大分県 1,594,578円

◆ 災害見舞金の贈呈【終了】

熊本県に対し、災害見舞金を贈呈

◆ 被災ペットの受入【終了】

9月26日 全国に先駆け、被災ペット（猫5頭）を受入

◆ 震災関連情報の発信

HPやTwitter、チラシ等を活用し、都の支援、ボランティア情報等を発信